

# 文化財 せんだい



No. 136

令和5年(2023年)7月発行  
仙台市教育委員会文化財課  
仙台市青葉区上杉一丁目5-12  
上杉分庁舎 10階  
〒980-0011 Tel:022-214-8893  
仙台市文化財課  検索

## 文化財を「仙臺緑彩館」にて展示中!!

令和5年4月26日(水)に、全国都市緑化フェアの開催と共に「仙臺緑彩館」(所在：青葉区川内追廻)が開館しました。

館内の一角では、「政宗時代の陶磁器」をテーマに、仙台城跡の発掘調査で出土した、天目茶碗(抹茶を飲むための茶碗)や水差し(水を入れる道具)、向付(料理を盛る器)といった、茶の湯(客を招いてお茶を点てて振る舞うこと)に関するものを中心に展示しています。

これらの陶磁器は、主に美濃(現在の岐阜県)で作られたものです。また、中国で作られた青花(青い文様のある磁器)皿や碗の他、若林城跡で出土した美濃の織部皿も展示しています。

近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



展示遺物(17世紀後半)

## 仙台城跡から出土した瓦が里帰り!

これまでの仙台城跡の発掘調査で出土した瓦の多くは、収蔵施設に保管されていましたが、この度仙臺緑彩館のオープンに伴って、収蔵されていた瓦の一部を、仙臺緑彩館の庭園に野外展示しました。ご来館の際には、ぜひ里帰りした瓦をご覧ください。



瓦の野外展示の様子



調査予定地の様子

## おおてもん 仙台城大手門跡発掘調査が始まります!

仙台城の大手門は、江戸時代を通じて正門として存続していました。昭和20年の空襲によって、大手門脇櫓とともに焼失してしまいましたが、写真や図面からおおよその位置がわかっています。

今年度は、5年間で計画している大手門跡周辺発掘調査の1年目にあたります。将来的な復元に向け、調査では柱の跡などの痕跡を探ることで、門の位置の特定や周辺の様子を把握を目指します。調査は9月以降の実施を予定しています。

「文化財せんだい」  
バックナンバーはこちらから



## 発掘調査速報!!

# 古代の溝跡を発見! 後河原遺跡

後河原遺跡は、太白区中田にある古墳時代から平安時代頃まで続く遺跡です。これまでに5回調査を実施しており、古代の水田跡や建物跡が見つっています。

遺跡の中心部2か所で調査を行ったところ、謎の溝跡が現れました(右の写真で赤く線を引いた左側の黒い土の部分)。この溝の中からは、古代の瓦や土師器、須恵器とよばれる器などが出土しています。



溝跡が発見された時の様子



溝跡のようす(深さ約1.3m)

実はこの溝跡、現在ある道路とほとんど同じ向きに掘られていることがわかりました! この場所には古代から道路がつくられ、発見された溝はその道路のそばに掘られた側溝の役割を果たしていた可能性があります。しかし、調査の例が少なくまだわからないことが多いため、謎は深まるばかりです…。

今後は似たような事例を集め、ここに本当に道路があったのか、溝の正体は何なのかを明らかにしていきます。

## 「どちらも市内現存最古! 実は? やっぱり? スゴイ建物たち」

これまでの評価が見直され、令和5年3月に、新たに指定文化財となった建物2棟をご紹介します。

「旧歩兵第四連隊兵舎」は、榴岡公園に建つ、仙台市歴史民俗資料館として活用されている建物です。洋風建築と日本の伝統建築の両方の要素を併せ持つ、和洋折衷の「擬洋風建築」の特徴がよく表れた建物で、この様式で作られた建物として、宮城県内に現存する最古かつ最大規模のものです。全国的に見ても兵舎の現存例は少なく、大変貴重であることに加え、きちんとした調査を踏まえて復元整備され、積極的に活用が図られていることが評価されたため、宮城県指定有形文化財となりました。



「陸奥国分寺鐘楼堂」は、若林区木ノ下の陸奥国分寺境内に立つ、袴腰付き鐘楼です。江戸時代初めに伊達政宗によって建てられたと考えられていましたが、令和3年度までの解体修理工事によって、それより古い室町時代後期に建てられたことが分かり、仙台市指定有形文化財となりました。仙台市内では江戸時代より古い木造建物は確認されていないため、「陸奥国分寺鐘楼堂」は、市内に現存する最も古い木造建物ということになります。また、陸奥国分寺の古代・中世の状況は不明な点が多いことから、「陸奥国分寺鐘楼堂」をより詳しく調査することで、新しい発見があるかもしれません。

あなたの「学びたい!」に  
お応えします!

～出前講座・出前授業 大好評実施中!～

「伊達政宗について学びを深めたい!」  
「発掘調査で出土したホンモノの遺物を見たい!」  
「子どもたちに歴史の楽しさを伝えたい!」

皆様の熱い思いにお応えすべく、  
文化財課職員が歴史のおもしろさをお伝えしに参ります!

### ○昨年度実施例

- ・ 出前講座→「発掘最新情報」、「調査から分かる政宗の城～仙台城～」、「郡山遺跡と多賀城」など
- ・ 出前授業→「縄文土器と弥生土器」、「地域の歴史」、「昔の道具」、「伊達政宗と仙台城」など

★講座・授業形式以外にも現地で行う「仙台城ガイド」、「陸奥国分寺ガイド」、「郡山遺跡ピロティガイド」も実施しております。大まかな内容でも構いませんので、まずは文化財課までお早めにお問い合わせください。皆さまのご希望に寄り添った内容をご提案させていただきます!



郡山遺跡ピロティガイドの様子



子どもたちの疑問にお答えします!

## 『文化財の魅力を もっと近くで 味わいませんか?』

(文化財サポーター養成講座)

本講座は、文化財の保護と活用を支援するサポーターの養成を目的に行っているもので、令和4年度は計7回実施しました。

参加された皆様には、座学・散策・体験など、様々な形で文化財に親しんでいただきました。今年度も募集いたしますので、多くの市民の皆様への募集をお待ちしております。詳しくは、市政だよりやホームページなどを通してお知らせします。



第3回 「ぶらり仙台城下町めぐり」



第5回 「文化財関連施設の見学」

# お知らせ

## 《イベントのお知らせ》伝統文化を体験しよう！

令和5年度「せんだい伝統文化フェアin大倉」を、下記のとおり開催します。自然のなかで、茶道や華道、郷土芸能、郷土料理などの伝統文化を体験してみませんか？ぜひ足をお運びください。

- 日 時 令和5年10月15日(日)  
午前10時～午後3時
- 会 場 大倉ふるさとセンター  
(青葉区大倉字若林14-2)
- 内 容 伝統文化の鑑賞・体験  
(お茶を点ててみよう、生け花をしよう等)
- 参加費 無料
- 備 考 詳細は「市政だより」でお知らせします！



## 第77回文化財展開催中！～仙台の歴史を楽しく学んでみませんか？～

第77回文化財展では、令和4年度に蒲生御蔵跡から出土した木簡(昔の荷札)や上野遺跡(太白区富田)から出土した縄文土器など、見ごたえのある遺物を展示しています。また、パネル解説で文化財について詳しく学んでいただけます。今年は期間限定で、仙台城VR体験、勾玉づくり体験、拓本体験といった、お子様から大人まで楽しんでいただける、体験型のイベントの実施を予定しています。イベントの日程や詳細は、文化財課ホームページでご確認ください。

仙台の歴史を味わうことのできる逸品をぜひゆっくりとご覧ください！

○日 時 6月13日(火)～8月20日(日) 10:00～18:00 休館日 毎週月曜日

○場 所 東北電力グリーンプラザ とうほく文化情報コーナー(東北電力ビル1階)



文化財課HP

## 令和5年度 連載企画 文化財課職員が語る！

第1回 ベテラン調査員、工藤さんが語る思い出の文化財

### 中学生の自分へ伝えたい。『今発掘やっているよ。』

文化財課歴40年超の私が紹介するのは、青葉区熊ヶ根にある「野川遺跡」です。50数年前の夏、人類が月に降り立った頃、この場所で何千年も前の縄文人が残した土器の魅力に目覚めた一人の中学生が土器を探して歩きまわっていました。それから20数年後、中学生は文化財課の職員として再び野川遺跡に立ち、発掘調査を行いました。そして、予想もされなかった約一万年前に縄文人が埋めた多数の石器がそのままの状態で見つかったのです。再び戻ってくる時のために一時的に埋められたもので、全国的にも珍しい埋納状態からの出土品は県の指定文化財になっています。

あの夏から半世紀あまり、野川遺跡は数多くの遺跡を調査してきた私の原点となった遺跡でした。



左の写真から、一万年前の縄文人の行動が見えてきます。石器の向きに注目してください。周辺の小さな石器は丸く並んで立っていますね。このことから、袋状のものに入れて、その上に大きな石器をのせて埋めたことが分かります。さらに周辺を観察すると、目じるしになるように大きな木の根元に埋められたこともわかりました。

Wake Up! 仙台



めざめよ! こみ分別都市。



ワケルくん

この広報誌は雑紙としてリサイクルできます